

医事法学

《履修上の留意事項》開講前に必ず指定教科書を準備し、講義の際には持参すること。

補足講義資料を各講義開始時に配付する。

なお、講義内容がすべて補足講義資料等に掲載されているわけではないので、必要に応じてメモ等をとること。

《担当者名》○予防医療科学センター特任教授 / 岡村 敏弘 t-okamura@

【概要】

医師及び歯科医師の診療義務は、患者に対して負う私法上の義務ではなく、国に対して負う公法上の義務であることから、その身分や業務の遂行にあたり直接的・間接的に膨大な数の法律の規制を受ける。法律はその存在を知らなかったという抗弁で罪を免れ得るものではないことから、医師及び歯科医師は関係する法律の理解を深める必要がある。

医療に係る法又は法律に関する学問である医事法学において大切なのは、膨大な数の法律の条文、難解な用語や概念を暗記することではなく、法律の目的を理解しリーガルマインド（法的ものの見方と考え方）を身につけることである。法律は、道徳や倫理と同じ社会規範であり、社会の秩序を守り、安心・安全な社会生活を送ることができるように、論理的・合理的な考え方のもとに人間がつくったものである。したがってリーガルマインドは、法律職に就く者だけに必要なのではなく、それぞれの職種における深い専門知識、正しい価値判断及び公平な感覚によって、論理的に思考することであり、人間をよく知ることにつながることから、医療従事者にも必須であることを理解する。

【学修目標】

- * リーガルマインドを身につけ、医事法学の視点から医療に関する法制度を体系的に説明できる。
- * 医療契約と民事責任、医療行為における刑事責任について説明できる。
- * チーム医療における責任体制について説明できる。
- * 日本の医療保険制度について、健康保険法と療養担当規則の主な規定とともに説明できる。
- * 診療義務の法的性質と応召義務の法的位置づけについて説明できる。
- * 診療録の法的性質の観点からその重要性について説明できる。
- * 診療録や歯科技工指示書の適切な記載方法や記載内容について説明できる。
- * 医療情報の適切な取り扱い、秘密・プライバシー・個人情報の相違と法的効果について説明できる。
- * 医療事故と医療過誤、医療紛争の法的解決について説明できる。
- * 歯科医師法と健康保険法に基づく行政処分について説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	法学通論	法とは何か、リーガルマインド（法的ものの見方と考え方）を学ぶ。	岡村敏弘
2	法学通論	日本国憲法の基本原理と医療に関わる重要な条項、医事法制度のもとで法律に基づいて医療を国民に提供していることを学ぶ。	岡村敏弘
3	法学通論	刑法の基本的考え方と医事刑法（特に医療行為の適法性要件と刑事責任）について学ぶ。	岡村敏弘
4	法学通論	民法の基本的考え方と医事民法（特に医療契約と民事責任）について学ぶ。	岡村敏弘
5	法学通論	医療行為と法（特に許された危険の法理とチーム医療における信頼の原則など）について学ぶ。	岡村敏弘
6	診療義務と応召義務	診療義務の法的性質と応召義務の法的位置づけについて学ぶ。	岡村敏弘
7	日本の医療保険制度	日本の医療制度の概要、類型、保険診療とはどのようなものを対象に給付されるものであるのか、法律である健康保険法等の規定に基づいて学ぶ。	岡村敏弘
8	日本の医療保険制度	保険診療と診療報酬請求の流れ、保険診療における留意点について、厚生労働省令である療養担当規則の主な条文とともに学ぶ。	岡村敏弘
9	診療録と法	診療録と診療記録、診療録の法的性質について学ぶ。	岡村敏弘
10	診療録と法	診療録の記載内容とその重要性、いわゆる電子カルテにおける遵守事項について学ぶ。	岡村敏弘

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
11	医療情報と法	医療情報の取り扱いにおける留意点、秘密とプライバシーの相違について学ぶ。	岡村敏弘
12	医療情報と法	いわゆる個人情報保護法でいう個人情報とはどのようなものを指すのか、秘密とプライバシーとの相違とそれぞれの法的効果について学ぶ。	岡村敏弘
13	医療水準論	医療の質と医療水準の相違について学ぶ。	岡村敏弘
14	医事紛争と法	医療事故、医療過誤とその後の法的解決について学ぶ。	岡村敏弘
15	医療における行政処分	主に医療保険の行政処分における基本的考え方と社会的制裁・経済的制裁について学ぶ。	岡村敏弘

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験（筆記試験）（100%）

【教科書】

「公衆衛生がみえる 2026-2027」医療情報科学研究所 編集，メディックメディア
補足講義資料を配付する

【参考書】

「医事法 判例百選 第3版」甲斐 克則，手嶋 豊 編，別冊ジュリスト258，有斐閣

【学修の準備】

指定教科書（4年「社会歯科学」の教科書と同じ書籍）を必ず事前に準備し、講義時に持参すること。

予習として、学修内容で示している授業内容および学修課題に関する項目を教科書等で確認し、基本的用語等を理解しておく。（30分）

復習として、講義内容を補足講義資料と教科書で確認する。（30分）

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

以下のポリシーと密接な関連を有する。

- DP 1. 安全で質の高い歯科医療を提供するために必要な専門知識に基づく問題解決能力と患者ケアのための診療技能とからなる専門的実践能力、および医療・医学研究の発展のために必要な情報・科学技術の活用能力を身につけている。
- DP 2. 「総合的に患者・生活者を支える歯科医療」を提供するために必要な高い倫理観、他者を思いやる豊かな人間性および優れたコミュニケーション能力を身につけている。
- DP 3. より安全で質の高い歯科医療を実践し社会に適応する医学を創造していくために生涯にわたって自己および他の医療者との研鑽を継続しながら医療者教育と学術・研究活動にも関与できる能力を身につけている。
- DP 4. 多職種（保健、医療、福祉、介護）と連携・協力しながら歯科医師の専門性を発揮し、患者中心の安全な医療を実践できる能力を身につけている。
- DP 5. 歯科医療の専門家として、経済的な観点・地域特性を捉えた視点・国際的な視野を持ちながら活躍できる能力を身につけている。

【実務経験】

岡村 敏弘（歯科医師）

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している